

民話募集中!

# まちがいさがし クイズ



左右の絵を見くらべて、まちがいを8カ所見つけてください。

とうふねこ座：市川雅子 画

### 応募方法

ハガキまたはファクスに、①答え(右の絵に○をつける)と②住所・③氏名(ふりがな)・④年齢・⑤電話番号・⑥広報紙の感想・ご意見を書いて応募してください。なお、当選者のお名前を広報がまごおり10月号に掲載しますので、ご了承ください。

### 送り先

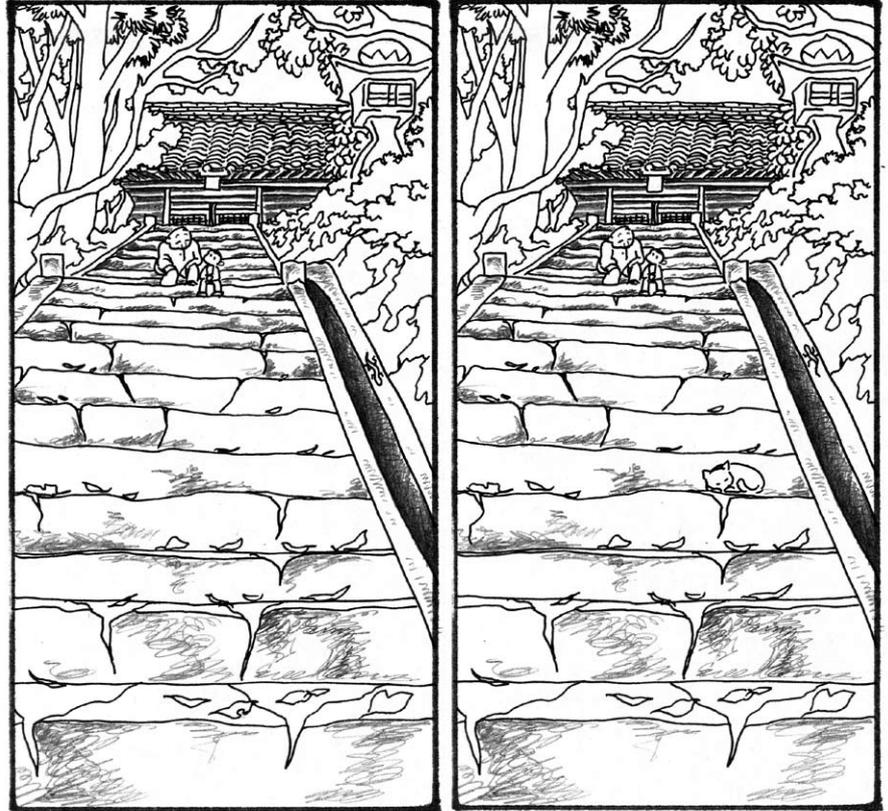
〒443-8601 旭町17番1号  
企画広報課「クイズ」係  
FAX66♦1190

### 応募締切

8月15日(水)

### プレゼント

全問正解された方のうち、抽選で10人の方にクオカードもしくはラグーナの湯無料利用券をプレゼントします。なお、賞品は10月初旬に郵送します。



### 「御鍛神社」(竹島町)

にぎやかな提灯祭りが終わって夏休みが始まった。ほくは、薄暗いおくわさんへ行ってみた。ちよつと涼みこ。

急な石段に座ってアイスを食べながら、「おくわって変な名前」

「おや、子どもとは珍しい。この神社の名前か?この神社ができた時の話を聞いていくか?」一人のおじいさんが声をかけてきた。

「んー、鍛って畑の鍛?ちよつとおもしろそつ」  
「てつつかそつか。むかしな、この辺りの庄屋さんらが頭付き合わせて話そつた。

「このまえ旅の坊さんが、たくさんの虫が田畑を食い荒らして飢饉(ききん)になった。また他では、大水で田畑や家が流されて飢饉になったと言われたつたわ」

「こつちじゃ日照り続きでカラカラつじゃ」  
「こもかしこも飢饉(ききん)だらけじゃ」

「こりゃあきつと神様がわしらの不信心をおとがめになったんだわ」  
「おい、おや、お伊勢さんの榊の枝が鍛の形に生えてきた事があつたんだと。その年は大豊作だつたそつじや。それ以来お伊勢さんの白木の御鍛をお祀りすると豊年になるそつたわ。今流行つて「お鍛」そつりゃあいい。さつそくみんなでお伊勢参りにこま」

こつちでお伊勢さんより勧請した御鍛様を、この城山にお社を建ててお祀りしたんじや」

「へー、それでおくわさんっていつのかあ」  
「それから60年程して、今度は疫病が流行つた。その夏、茶屋場の下の海岸に御鍛さん(おみよしさん)が流れ着いたんじや」

「おみよしさん?こつちのおぼさん?」  
「いや、おみよしさんといつのは、厄除・疫病除の天王祭りの神送りで流された津島神社の御神体のヨシじや、地元の人には「津島の神様」おいでになつた!」と喜んで御鍛様と一緒に祀りし、津島神社のお札を毎年受けてお祀りするよつになつたんじや」

ハクシヨソ  
「おつ、もつすく海に日が沈む、もつお帰り」  
「おつ、おつ、ありがとー」

津島天王祭り神流し神事の御ヨシは天王川に流したものが、三河湾の潮の流れで以前は蒲郡に漂着したことがありますが、現在では、天王川が丸池になり、流れません。

### ◆6月号の答え

6月号クイズまちがいさがし  
(一本松の観音様)の当選者  
応募総数84通  
正解者 76人  
当選者敬称略・50音順  
形原町 飯田あい子  
形原町 岩瀬あい子  
西追町 蟹江裕子  
三谷北通 熊谷有紀  
丸山町 杉田佳奈子  
三谷町 鈴木典子  
大塚町 竹内嘉啓  
拾石町 内藤まどか  
大塚町 早川美沙紀  
竹谷町 山本淳太  
おめでとつございませつ。賞品は8月初旬に発送します。

